

山里・未来プロジェクト 地域創生講座「地域づくりの原点」

まちづくり夢百笑の まちづくり



まちづくり夢百笑

令和元年度備前県民局協働による地域づくり事業

否定しない

日本一誇れる‘赤磐’ってなに？

まちづくり

X

まちづくり

まちづくり夢百笑

2013年に運営協議会をスタートし、2016年にNPO法人化。岡山県赤磐市北部で高齢者福祉（移動販売、サロン、店舗）を中心とした商業福祉サービスを行うNPO団体

2019年備前県民局協働事業の採択を受け、地域存続のための仕組みや枠組み創りをスタート

【基本データ】

団体名 NPO法人まちづくり夢百笑
会長 歳森 正一
設立 2016年4月
所在地 岡山県赤磐市仁堀中1684-1
休日 日、祝祭日
役員 4名 スタッフ 16名
夢百笑会員 93名





赤磐市活性化プラン 制作者
赤磐仁美地区から
地域を考える会

1

本日も伝えたい内容

赤磐市では多くの課題があります。
中でも少子高齢化による人口減少は今後大きな問題となっていく予定です。しかし、これは日本全国同じ状況です。先進国では同じ問題を抱えています。人口問題はゼロサムです。どこかが増えれば、どこかは必ず減ります。単に人口増加を目指すだけでは何も解決しません。これからは地域別に役割を持ち、役割ごとに住み分けていくことが大切になります。

未来における赤磐市の役割や私たちに何が出来るかを考え、出した一つのアイデアがこの赤磐市活性化プランといえます。特に、本プランは赤磐市の拠点ともいえる吉井・赤坂地域を中核として発展させていくことを目指しています。

2

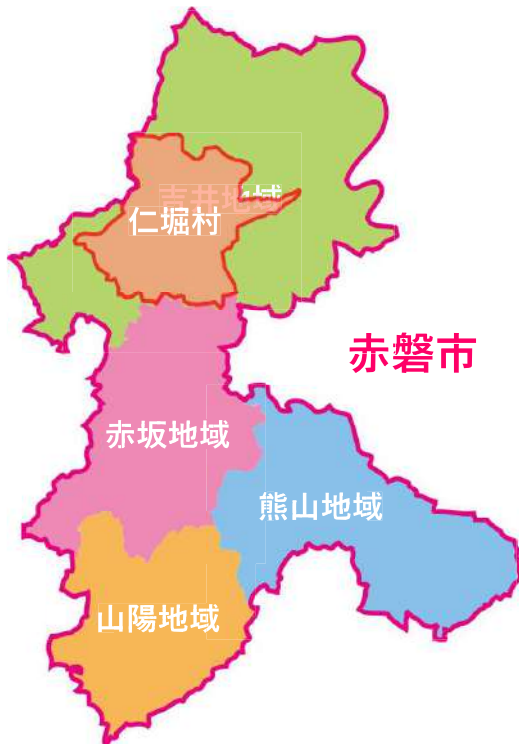
1

赤磐市活性化プラン（2013年）

小学校の統廃合問題が提起されて以降、地域の消滅が現実味を帯びてきたことで仁美地区が生き残っていくための地域づくりプランを作成し、赤磐市に提案。

「人の成長によって発展する赤磐市」

人の成長を良質な教育で育もうとするもので子どもから大人までが成長できる生涯学習の地としての地域づくりを目指す。特に小学校教育の魅力化や子育て支援を地域として積極的に取り組むことを考えており、住民が中心となって取り組む移住・定住を推進するための内容となっている。



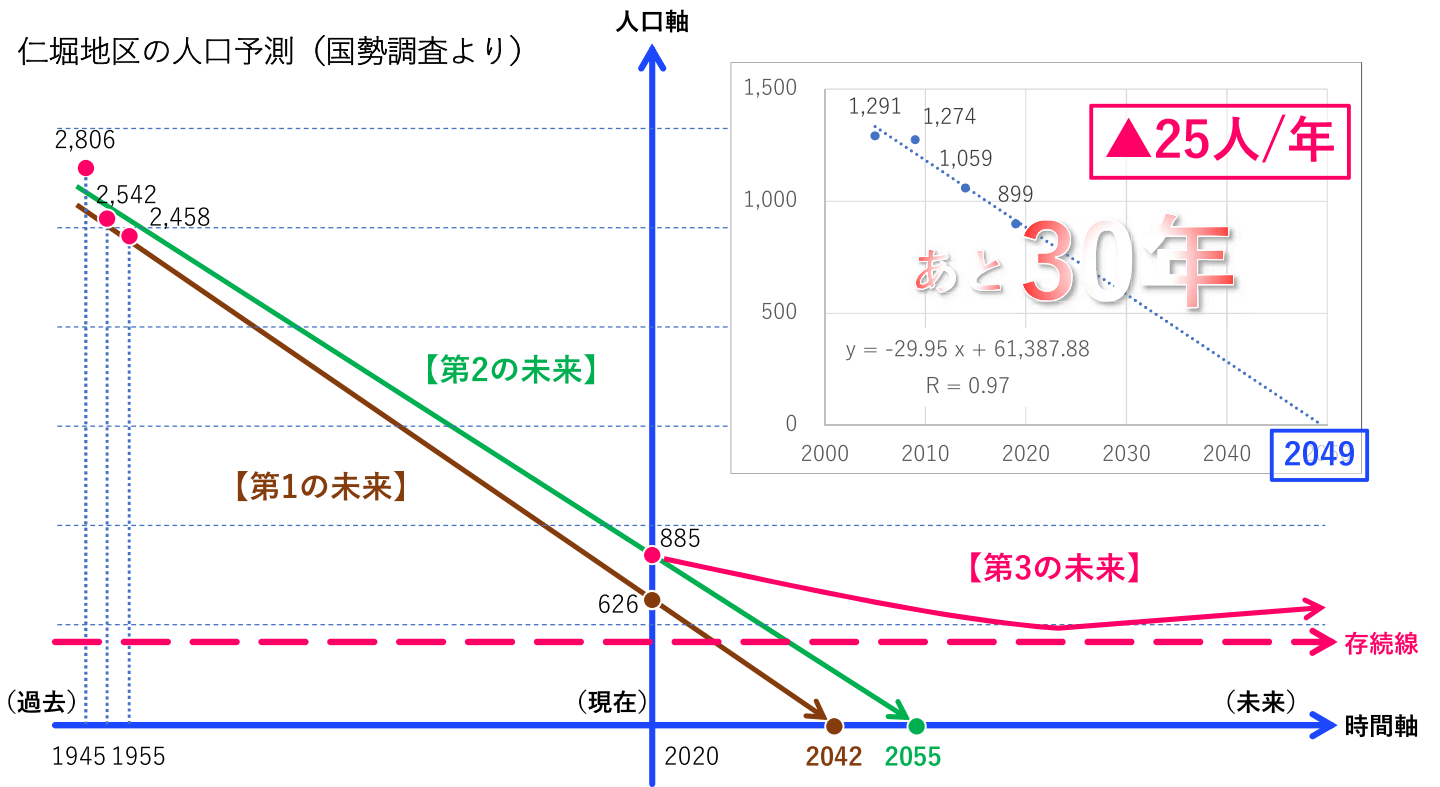
2013年に予測した未来

- 1889年 仁堀村誕生
- 1954年 吉井町誕生
- 1956年 仁堀村が吉井町に編入
- 2005年 赤磐市誕生
- 2013年 当時
- 2050年 吉井地域消滅
- 2100年 赤坂・熊山地域消滅
山陽地域の75%消滅

【計算根拠】

国交省の人口動態予測に関わる資料を元に、人口が多い自治体の人数を合計していき、未来人口に近くなった時点での自治体面積合計から国土使用率を設定し、赤磐市の地域消滅率を算出

仁堀地区の人口予測（国勢調査より）



250

最後のまちづくり

地域存続



いま、「協同」が創る2019全国集会 in kanagawa 2019/11/30

23.7km²

山陽 赤坂 熊山 吉井 赤磐市

34.6 43.0 45.7 **86.1** 209.4

仁堀地区

885人

(令和元年9月時点)

神奈川区

221,919人

(平成31年3月31日時点)

小地域ごとの簡易人口推計ツール

名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター提供

◆解説 *このサイトは町丁目ごとの国勢調査結果
e-stat (リンク)
上記リンクから->国勢調査実施年度->小地域集計->都道府県->
年齢(5歳階級), 男女別人口

2010年と2015年のデータを用いて、小地域の人口将来推計を行うものです。
(1995年から5年ごとに選択可能)

主に人口減少が著しい地域で、小学校区ごとに、何もしない場合と移住・定住に取り組んだ場合の違いを見ることを想定しています。

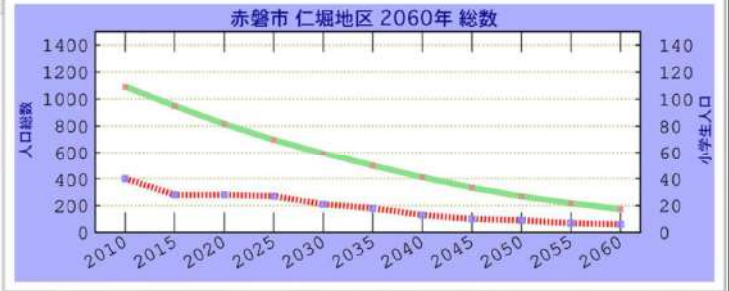
*現在の趨勢が続く場合の計算は「コーホート変化率法」を用い、シナリオに基づく推計は「コーホート率を変えずに、出生率を変化させるおよび指定された毎年一定数の移住者の人数を当該年齢階級に加える」という方法で計算しています。

出生率は女性子ども比に女性の出産年齢階層(15歳~49歳の7階層)の数をかけて計算しています。

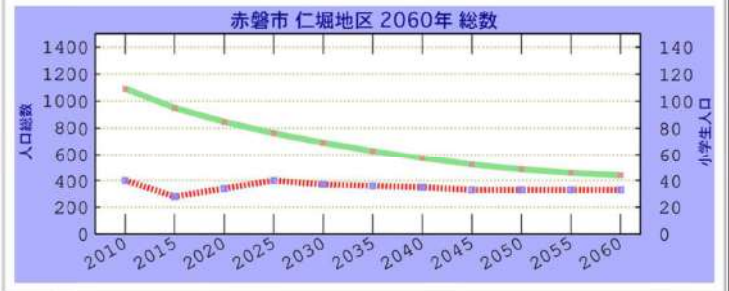
*生成されるグラフは、5年ごとに人口ピラミッド
(男女をあわせた総数)と全人口および小学校在学年齢人口が表示されます。

*また、高齢化率の変化と2015年時点での在地域率および指定された年の在地域率が表示されます。
在地域率とはコーホート比を低年齢層側から順次かけた数値で、この地域で生まれた人が年齢を経るごとにどれくらいの割合で残っているかという目安になります。

仁堀地区は今もまだと...



子育て世代が毎年2世帯地域に移住してきた場合

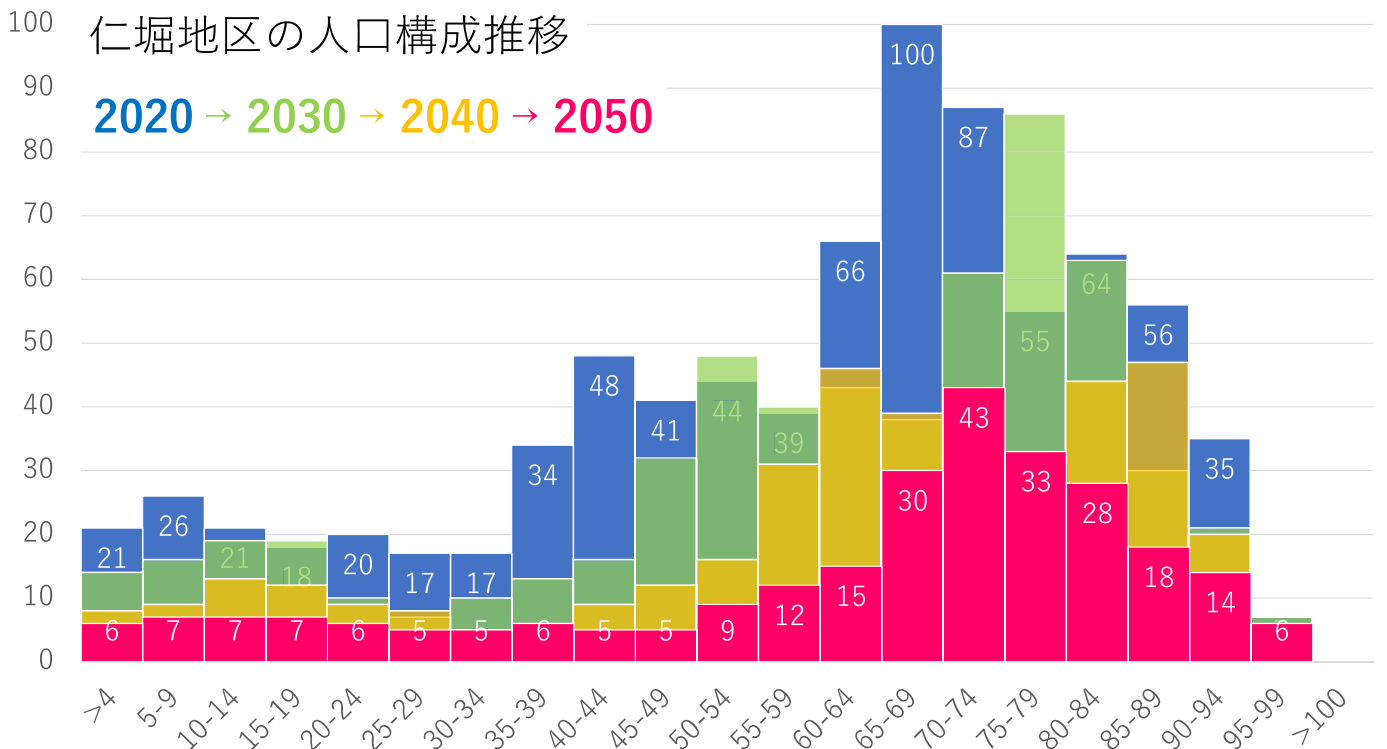


小地域ごとの簡易人口推計ツール
<http://zinen1000.xsrv.jp/upop/>



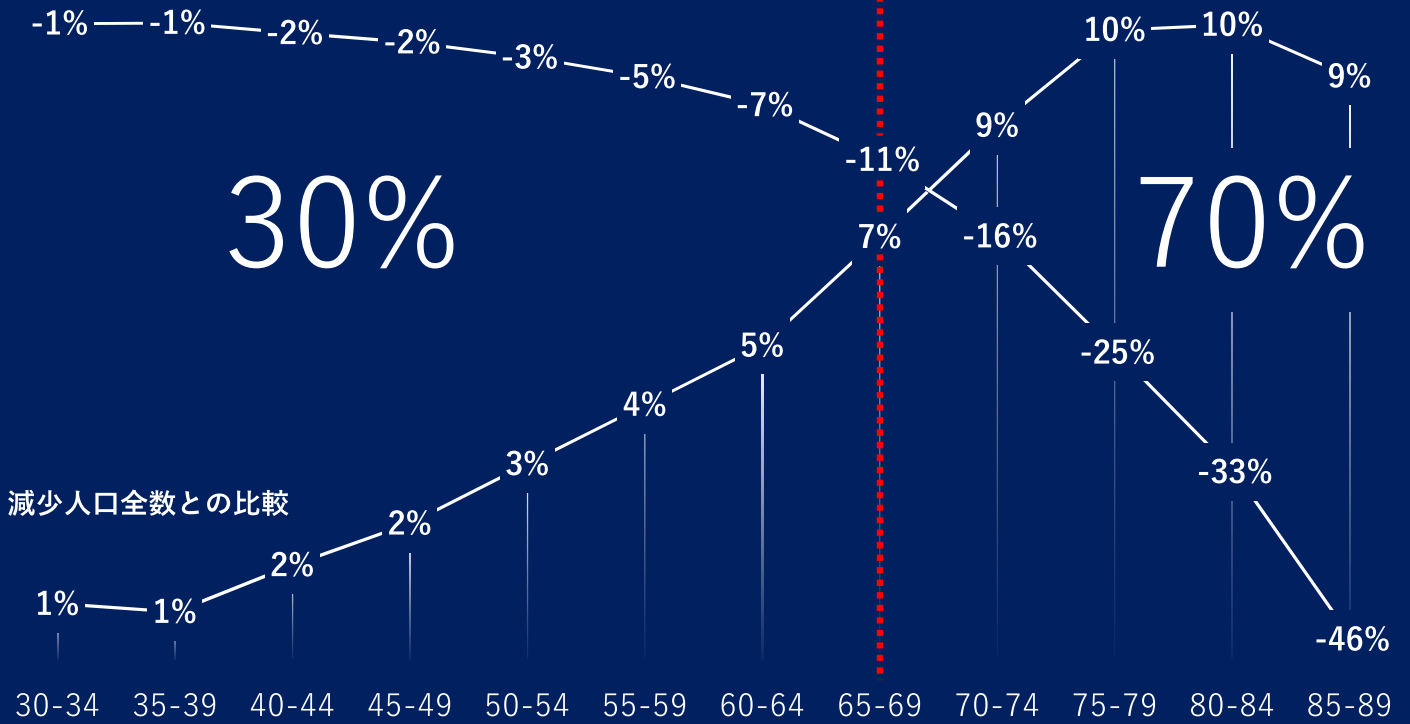
仁堀地区の人口構成推移

2020 → 2030 → 2040 → 2050

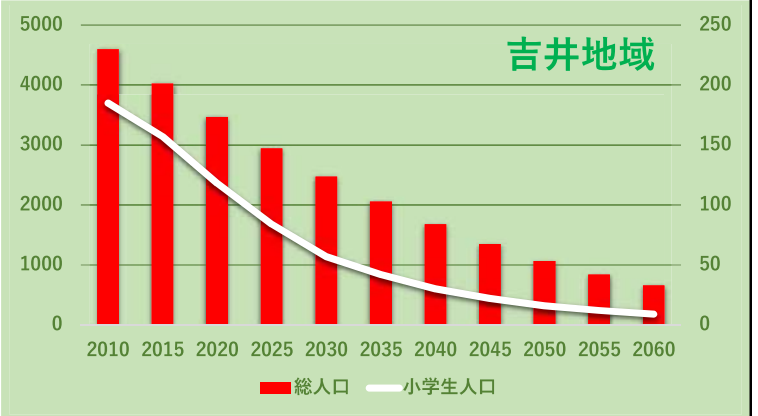
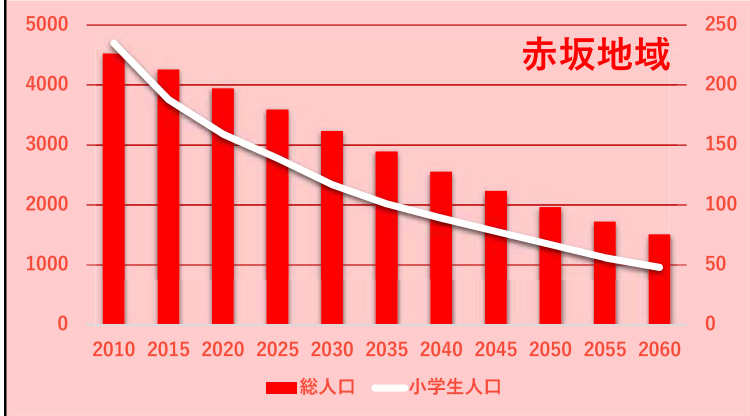
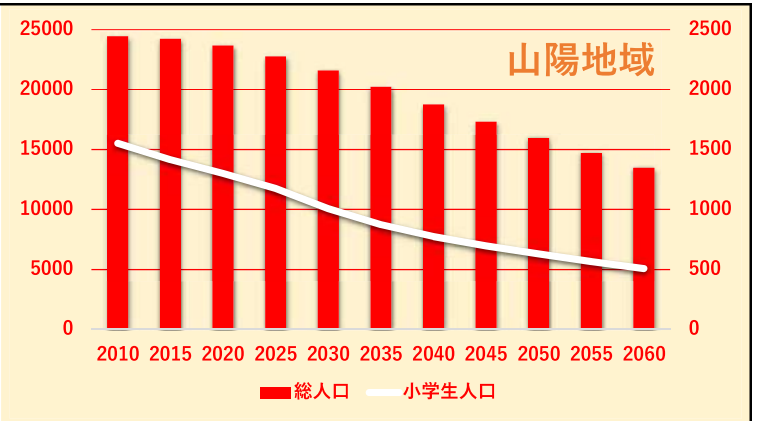
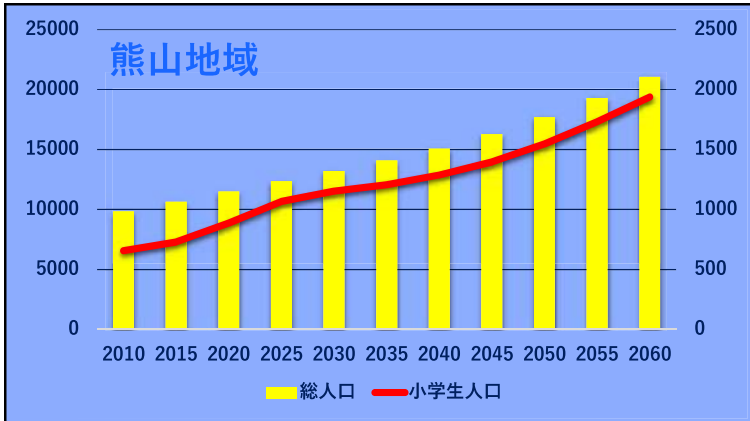


5年前の人口との比較

人口の減少率

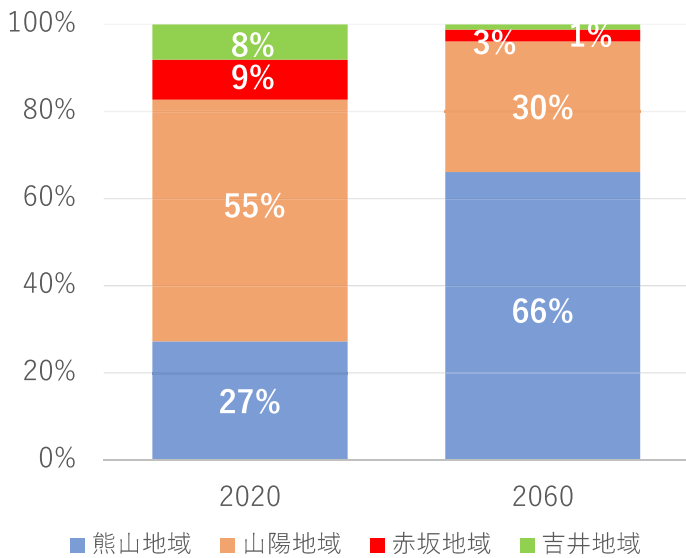


減少人口全数との比較



40年後の未来 in 赤磐市

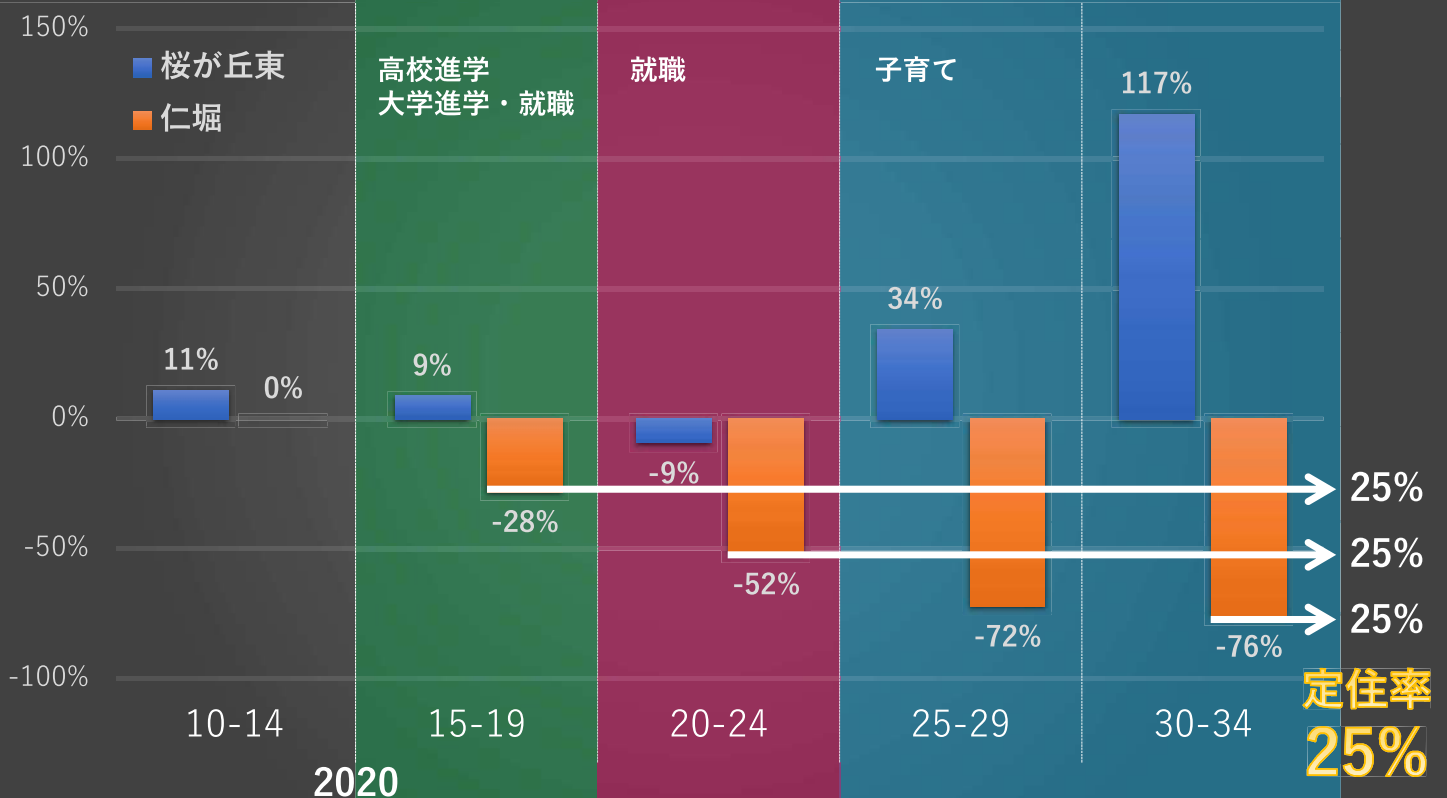
表 赤磐市各地区の人口増減率と人口構成比



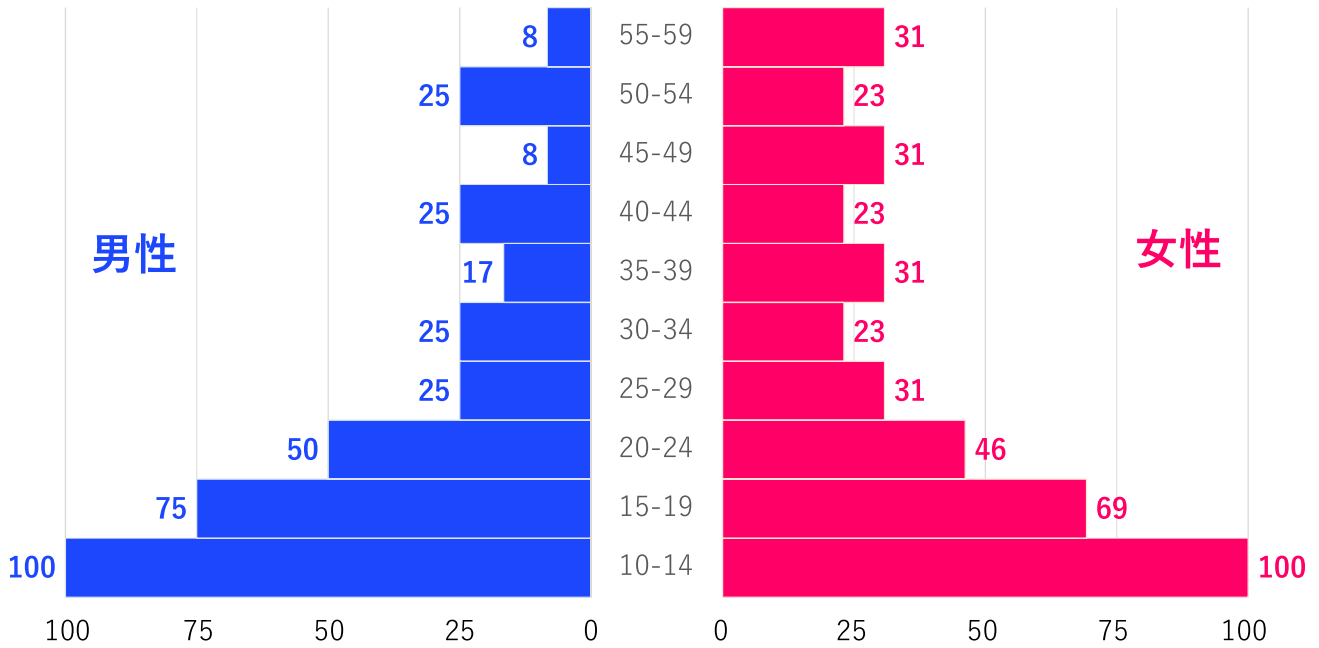
地域名	人口増減率	人口構成比	地域名	人口増減率	人口構成比
熊山	222%	66%	山陽	-28%	30%
可真	-82%	0%	高月	-69%	1%
小野田	-68%	1%	高陽	-35%	6%
豊田	8%	3%	西山	-60%	1%
熊山	-68%	0%	山陽	-83%	1%
桜が丘東	367%	62%	桜が丘西	7%	21%
赤坂	-61%	3%	吉井	-80%	1%
石相	-63%	1%	周匝	-84%	0%
軽部	-65%	1%	山方	-72%	0%
笹岡	-49%	1%	佐伯北	-80%	0%
			仁堀	-79%	0%
			布都美	-91%	0%

図 赤磐市の地域間人口構成比

2005年時点で0-4歳児の年代別人口動態予測（現在進行形の私たちの地域の定住パターン） ※5-9歳が基準値（0%）



仁堀地区2005-2009世代の男女別人口動態



※人口ピラミッドではありません。

この地域で育った子どもたちの半数が
就職時点でこの地域に残ったとしても
その半数はこの地域で子育てをしない

子育ては他地域で

地域づくりの先送りは“致命傷”

地域づくりの
チャンスはまたくる

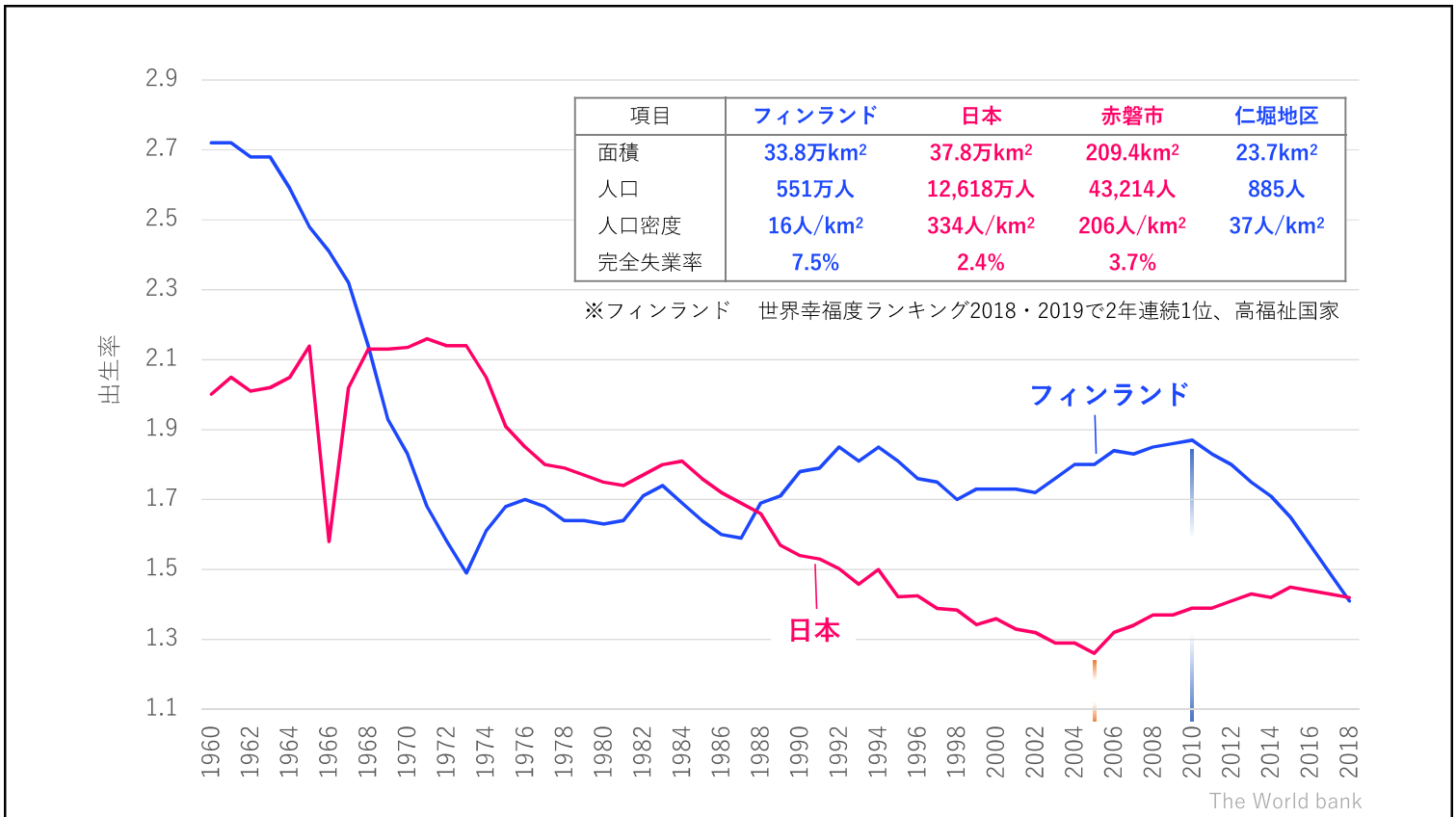
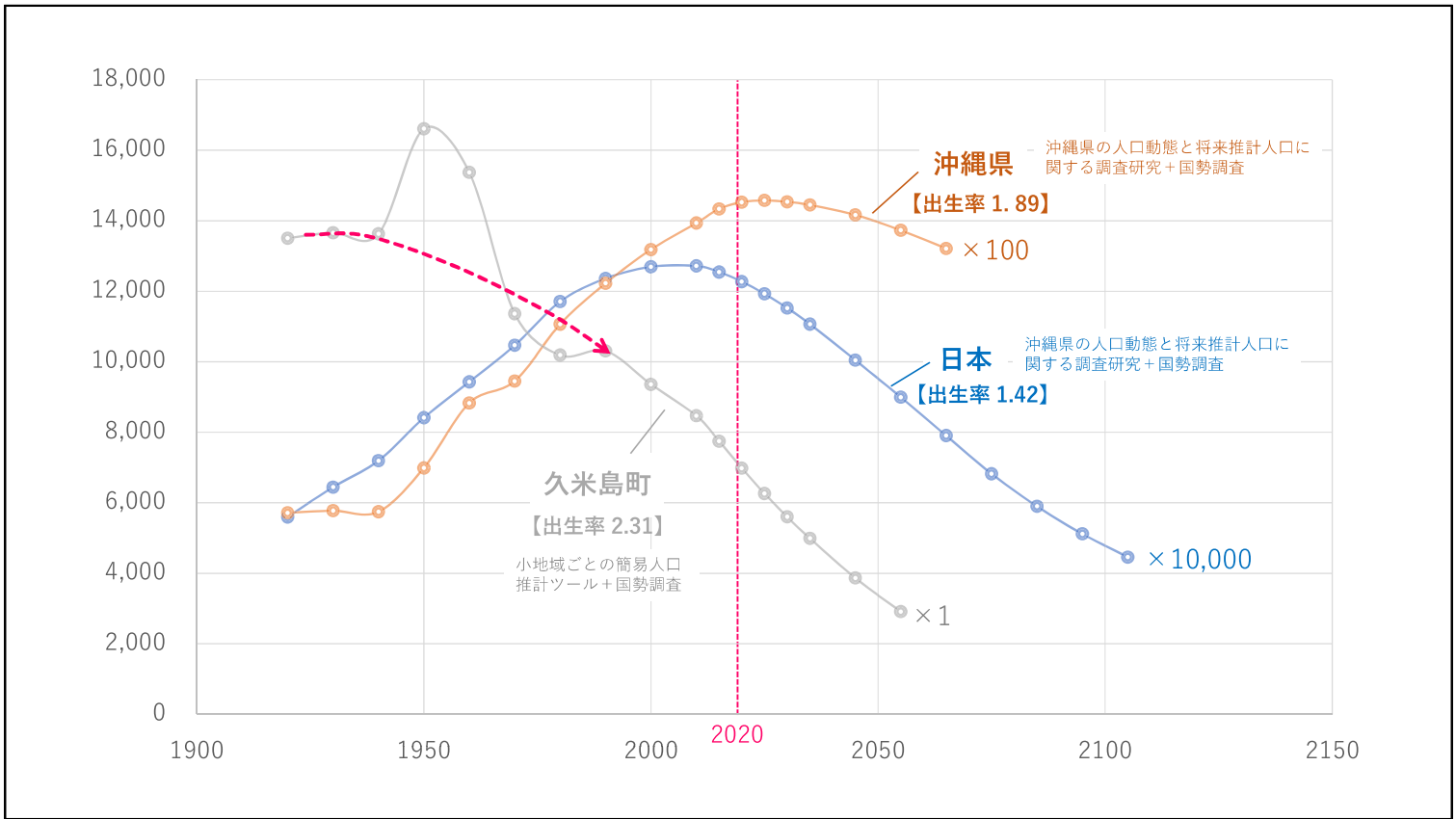
このままだと

“30年後には確実に
この地域が消滅してしまう”



その問題放置しておく
大変なことになりますよ

地域存続の条件



岡山県内で転入超過率がプラスの自治体の特長

自治体	人口 (人) 2019	出生率 (%) 2015	1世帯当たり 課税対象所得 (千円) 2012	転入超過率 (%) 2015	地域の 稼ぐ力	暮らし の 安定性	地域の 定住力	家族・ 地域の きずな力	住宅環境	共働き 支援力	子育て 支援力	出産・子 育て環境
岡山市	721,402	1.54	3,174	0.24	3.34	-1.25	2.25	-3.34	-5.01	-1.47	-0.18	2.30
倉敷市	475,883	1.66	3,177	0.05	2.73	-0.13	1.53	-2.51	-2.75	-1.12	-0.39	-0.03
総社市	68,149	1.46	3,253	0.29	2.06	-0.64	2.31	-0.90	-1.72	-1.09	-0.05	-0.21
早島町	12,428	1.47	3,299	0.34	2.50	-0.30	2.21	-1.07	-1.05	-1.30	-0.32	0.32
里庄町	10,994	1.35	3,154	0.11	1.91	-0.03	1.36	-0.55	0.65	-0.14	-0.64	-0.16
勝央町	10,945	1.84	2,652	0.23	0.00	0.08	1.03	0.09	-0.70	1.28	0.34	-0.49
赤磐市	42,616	1.56	2,881	-0.03	0.85	-1.32	1.09	-0.74	1.53	0.66	-0.09	2.07

岡山県出生率地域格差要因分析業務報告書（2017）より

子育て世代が毎年2世帯移り住むことは本当に可能か？

自治体数の変遷

年	自治体数	増減
1947	10,505	
1953	9,868	△ 637
仮定 1956	3,975	△ 5,893
1962	3,472	△ 503
2019	1,718	△ 1,754

(総務省HPより)

日本の総人口に占める年間移動人口

	移動人口	割合
日本の総人口	127,094,745	100%
自市区町村内	2,285,085	1.8%
自市内他区	322,518	0.3%
県内他市区町村	1,110,956	0.9%
他県	1,242,646	1.0%
国外	103,432	0.1%
移動人口計	5,064,638	4.0%

(平成27年国勢調査より換算)

地域存続に必要な年間移住者数 (概算)

4人/世帯 × 2世帯 × 5,893旧自治体 = **47,144人**

【条件】 毎年人口2,700人に1人の割合で地方へ移住すること

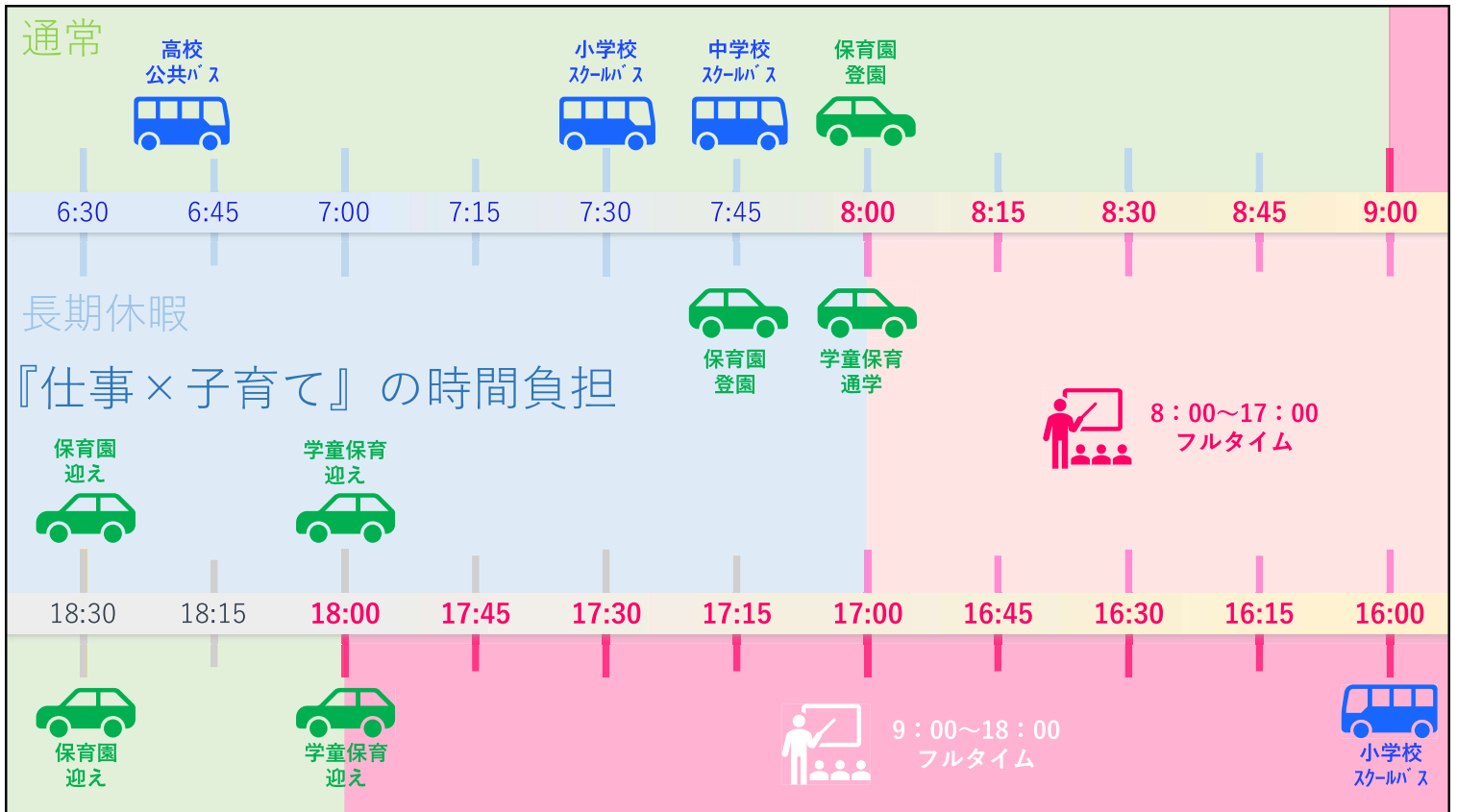
出生率を高める取り組みや充実した社会福祉で
人の数が増えたとしても人口減少は止まらない
今までのやり方では地域を守ることはできない

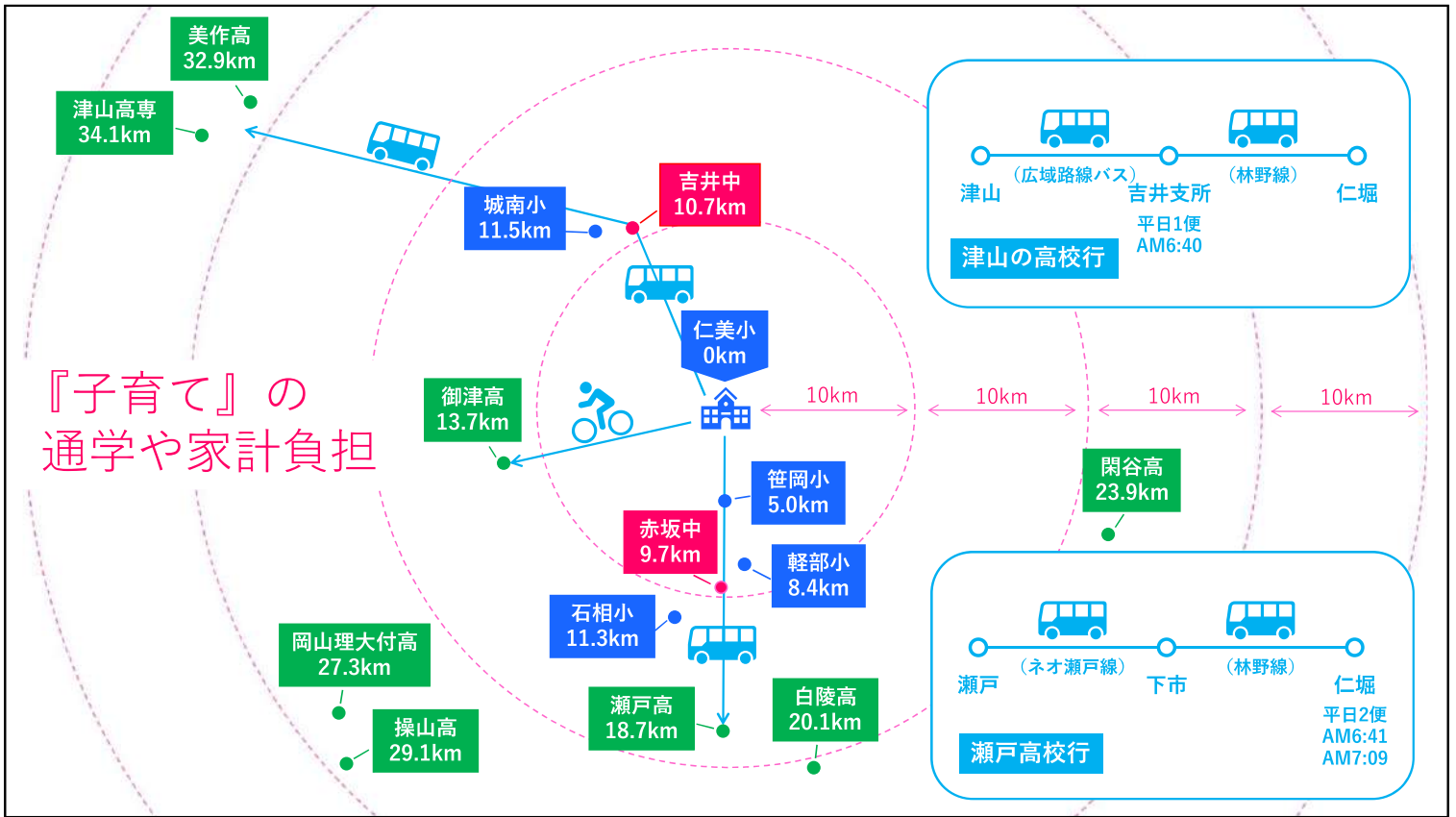
少人数で維持できる地域

中山間地域存続の課題

地域存続 '3つ'の課題

仕事 × 移動 × 子育て





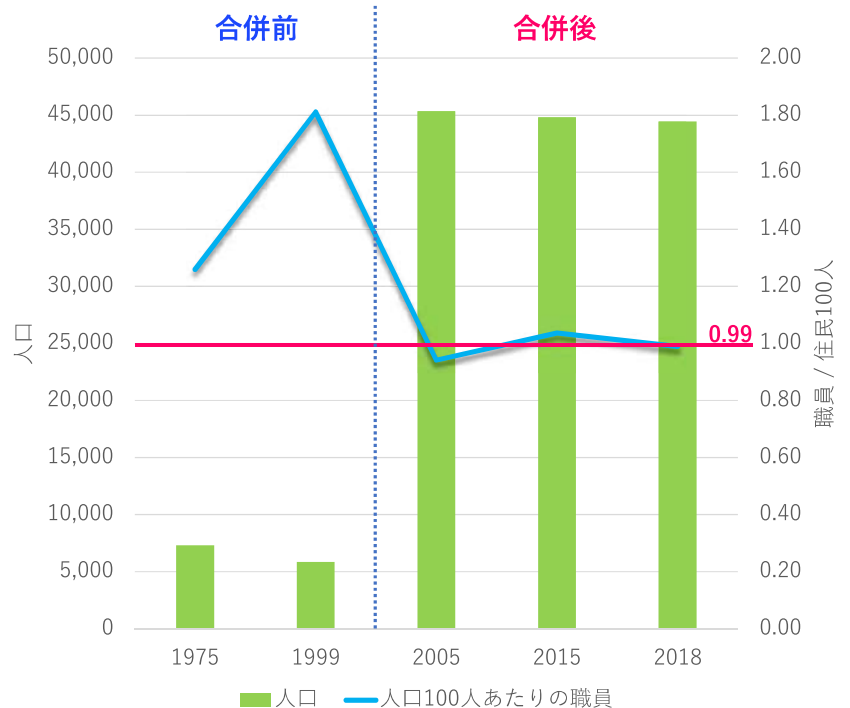
自治体職員の負担

類似団体※1との比較

都道府県	市	職員数/住民100人
島根県	A市	0.76
山梨県	B市	1.05
愛媛県	C市	1.19
兵庫県	D市	0.94
広島県	E市	1.00
兵庫県	F市	1.01
岡山県	赤磐市	0.99
平均		0.99

(H29真庭市定員適正化計画を参照)

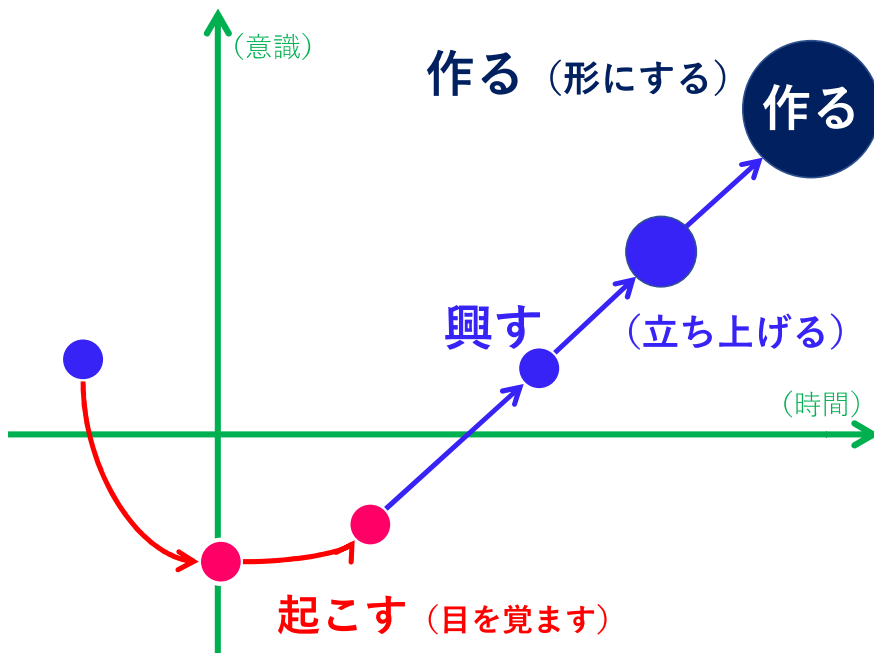
※1 類似団体；全国の市町村を「人口」と「産業構造」の要素から分類したもの



担い手不足

まちづくりの手順

地域づくり、3つのステップ



地域 =

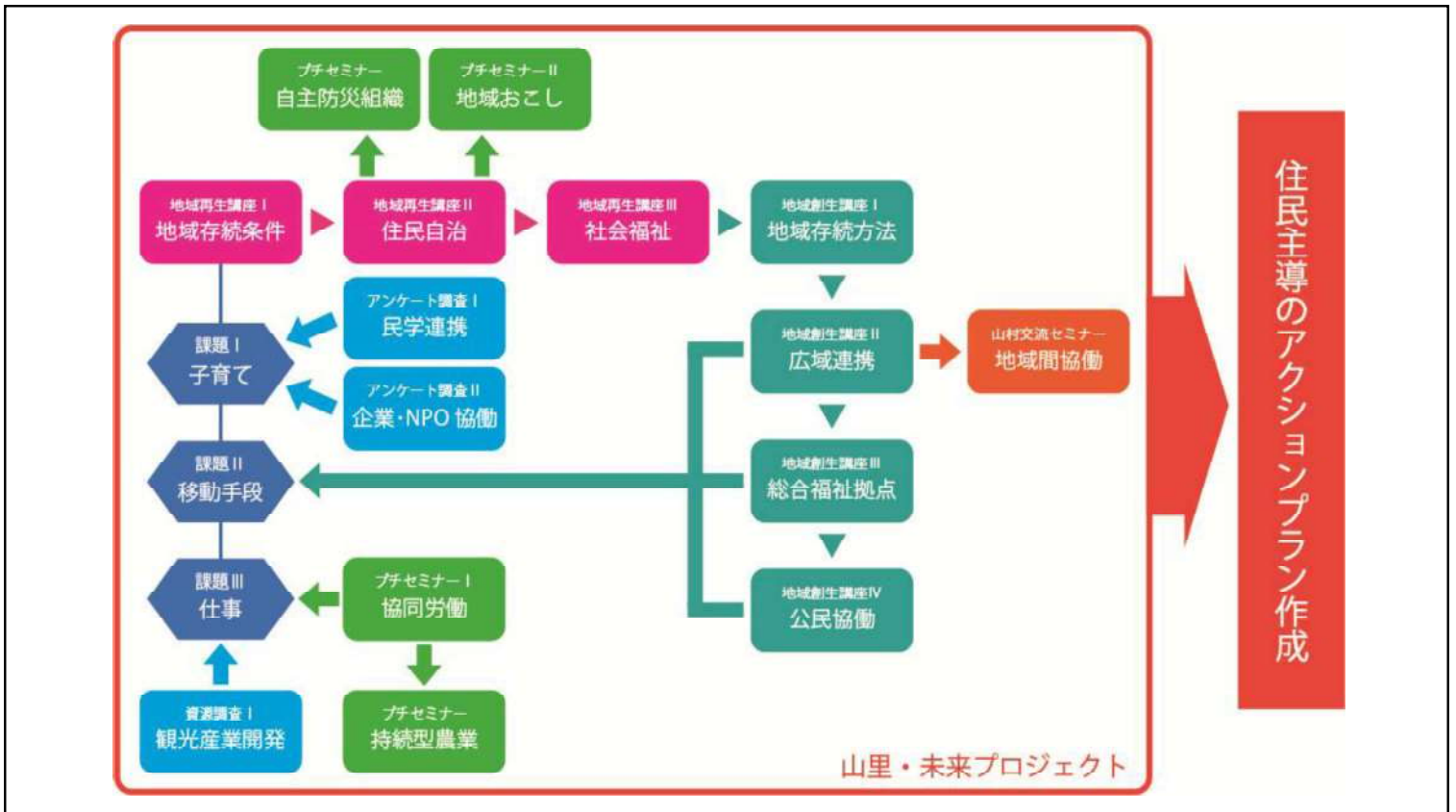
仕組み × 枠組み

仕組み × 枠組み

令和元年度備前県民局協働事業「山里・未来プロジェクト」



6/9	オリエンテーション	12/6	プチセミナーⅡ 「地域おこし協力隊の留め型」 岡山県地域おこし協力隊ネットワーク 代表 藤井裕也氏
7/14	地域再生講座Ⅰ 「地域存続への提言」 丹羽健司氏	12/15	地域創生講座Ⅱ 「地域づくりの原点」 まちづくり夢百笑
8/4	地域再生講座Ⅱ 「地参・地笑の暮らしづくりに向けて」 美作大学 小坂田稔教授	1月予定	地域創生講座Ⅲ 「次世代のための地域福祉サービス」 たけのこの家など2~3団体 プチセミナーⅢ 「学校へのかかわり方（仮）」 プチセミナーⅣ 「持続型農業の続け方（仮）」
9/15	地域再生講座Ⅲ 「仁堀地域の昔と今、そして未来へ」 赤磐市役所・赤磐市社協吉井事務所 ・まちづくり夢百笑協働発表	1/26	プチセミナーⅠの② 「協同労働による仕事づくり」 ワーカーズコープ広島
10/13	地域創生講座Ⅰ 「地域づくりをはじめよう！」 ワーカーズコープ登米・アシストとも	2月予定	地域創生講座Ⅳ 「他地域に学ぶ行政との協働の形」 他自治体へ依頼予定 山村交流セミナー
11/10	プチセミナーⅠ 「協同労働のはじめかた」 ワーカーズコープ広島		
11/30	いま、「協同」が創る2019全国集会		





楽しい 仕組み

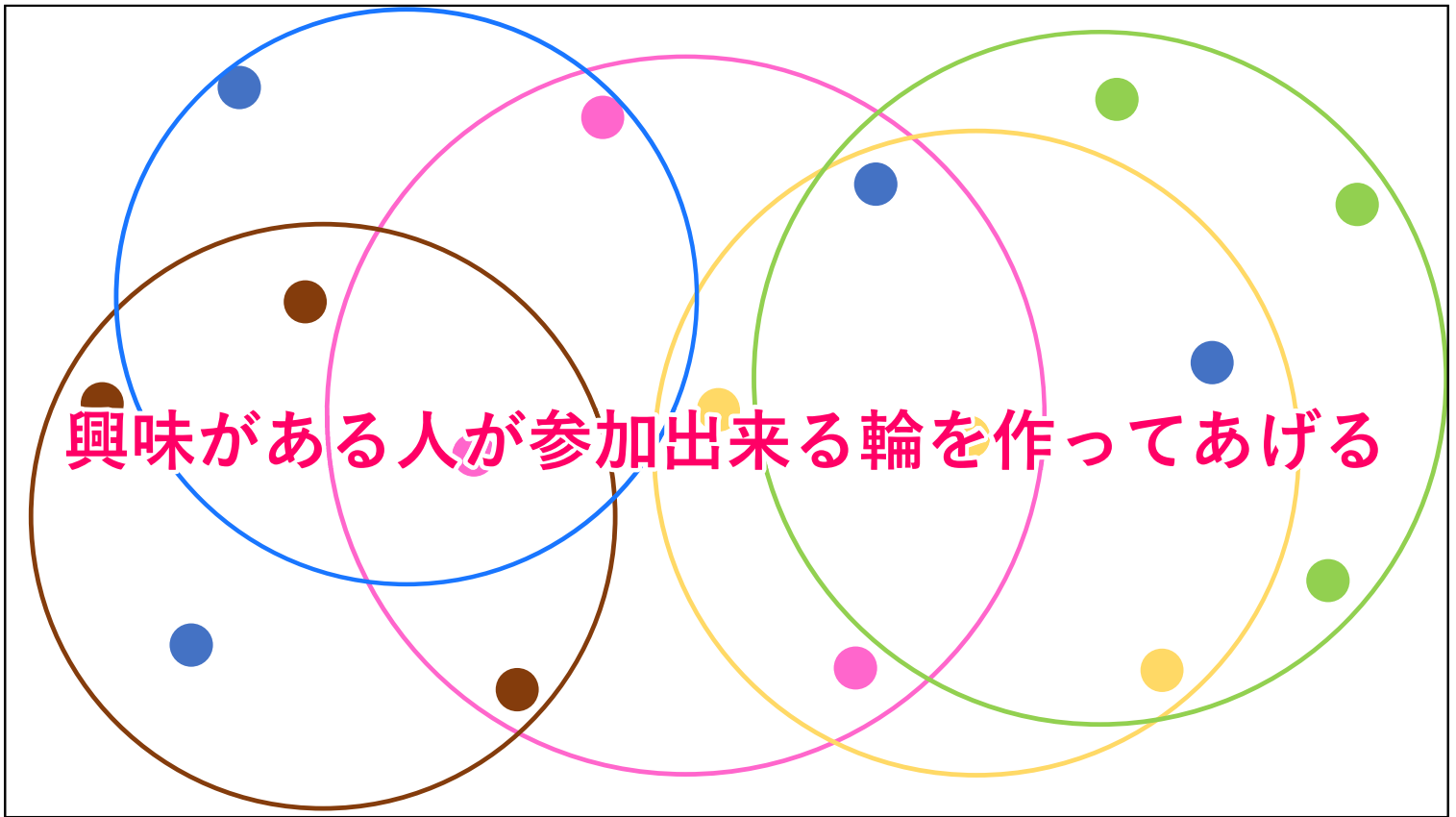
続ける 秘訣

みんなの

楽したい

仕組み × 枠組み





1つの大きなテーブルよりもたくさんの小さなテーブルを

友だち

釣り仲間

農家

消防団

自治会員

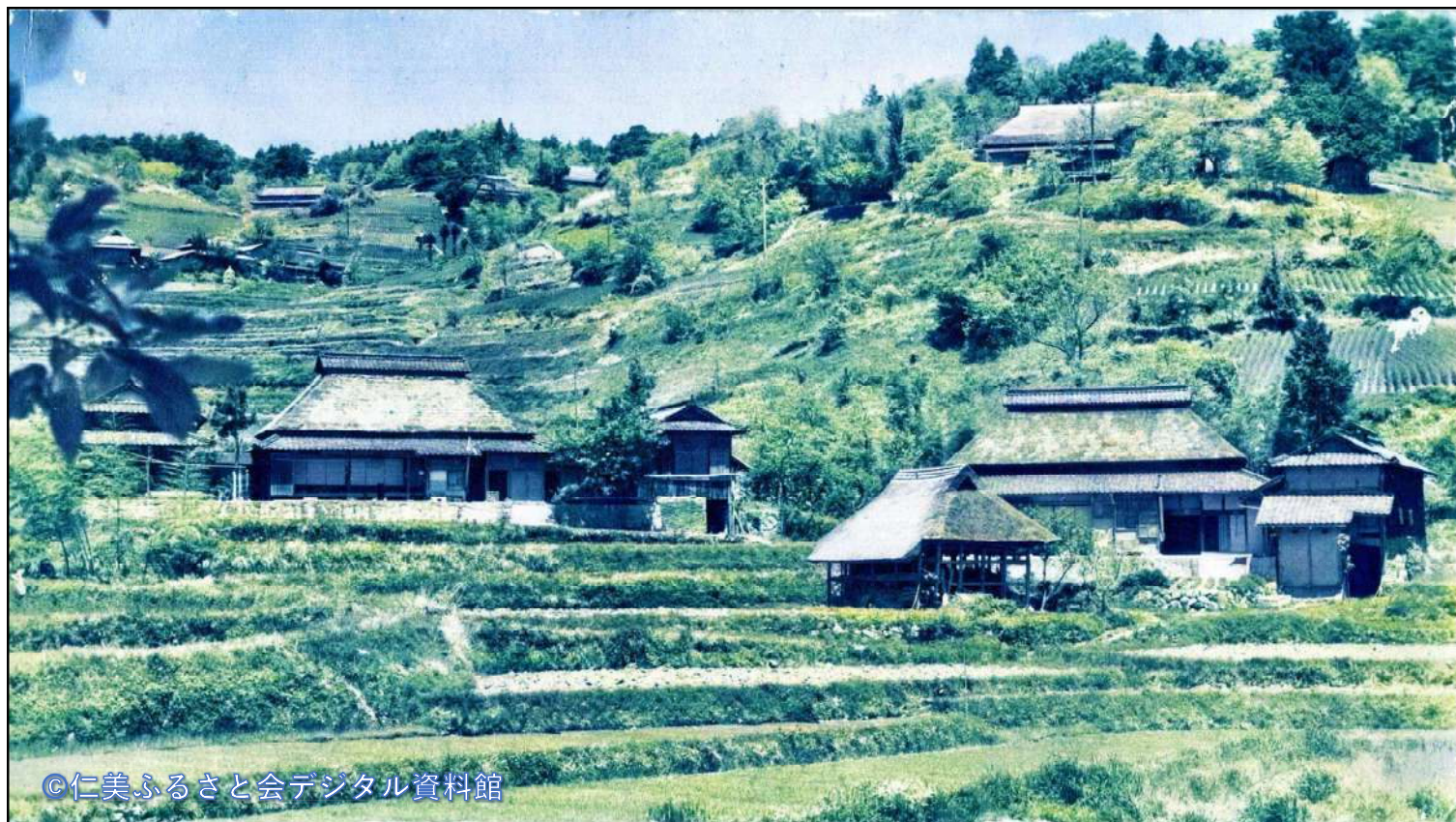
仕事仲間

ママ友

まちの定食屋型地域づくり

共存

地域での取り組み





©仁美ふるさと会デジタル資料館

子どもたちのテーマ

『やりたいことはやってみよう』



秘密基地遊び



『やりたいことはやってみよう』



まちづくり
夢百笑

笑顔

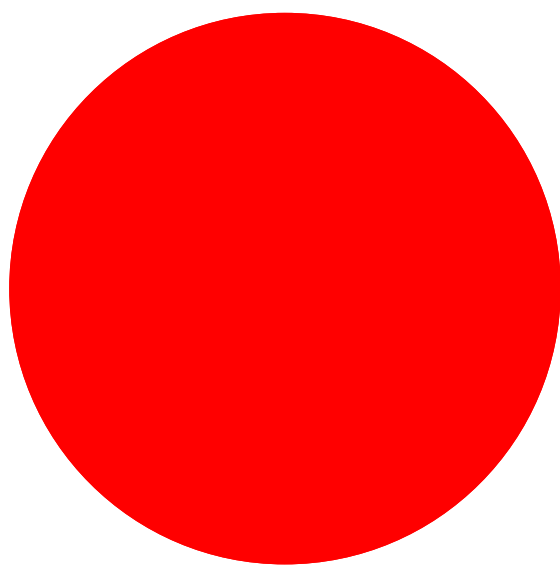
高齢者から子どもまで



赤磐市のP R活動



日本一誇れる**‘赤磐’**ってなに？



やっば

あかいいわ、すごいいわ

あかいいわの輪をみんなで広げていきましょう！

山村交流セミナー2020

開催地募集

まちづくり夢百笑では2020年1、2月に当団体の成果を共有する交流セミナーを開催して頂ける地域と団体を募集しています。

- 【内 容】** 地域活動の情報交流を通じて開催地域との連携や地域づくりの協働を目的とした住民参加型交流会
- 【対象地域】** 備前管内（岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、和気町、吉備中央町）
- 【開催日時】** 2020年1、2月
- 【申込条件】** ・2月20日までに開催できること
・平日開催が可能なこと
- 【申込資格】** ・地域活動を行っている行っている非営利団体や任意団体
※県民局に確認頂ける助かります。
- 【募集枠】** 最大3地域（和気町は開催決定済）
- 【開催費用】** 補助事業費用条件に準じます。

★ 2020年1月の予定

1/26(日) プチセミナー

『協同労働による仕事づくり』

協同労働のはじめかた第2弾。今回は11/10に生まれた仕事のアイデアを形にしていく作業をワークショップ形式で行います。

1月（日）開催予定 地域創生講座Ⅲ

『次世代のための地域福祉サービス』

自分たちのためだけでなく、次世代に引き継ぐために、今できる福祉の形について話し合います。

【参加費無料】ぜひご参加ください！

山里・未来プロジェクトの情報は
Facebookでご確認頂けます。



ご清聴ありがとうございました

会場清掃等へのご理解・ご協力ありがとうございます。

忘れ物にはくれぐれもお気を付けくださいませ。

お帰りはどうぞご安全に！

まちづくり夢百笑